

令和7年度 中央区地域力向上事業(助成事業) 事後評価【南地域】

No.	事業名	団体名	評価					総事業費 (補助対象経費)	市執行額 (補助金額)	採択回数
			達成度	活用度	貢献度	支援の 妥当性	費用対 効果			
1	地域協働防災キャンプ事業 【HAMAMATSU BOSAI READY】	スポーツ振興団体S RISE	B	A	A	B	B	2,194,629円	1,097,000円	1回目
2	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり	NPO法人水辺の里まちづくりの会	A	A	A	A	B	509,301円	127,000円	3回目
3	地域交流 健康増進/防災意識向上 イベント	医療法人社団綾和会 浜松南病院	A	A	A	A	A	1,108,278円	246,000円	3回目
4	秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業	秀吉ゆかりの頭陀寺城を語る会	B	A	B	B	B	300,322円	150,000円	1回目
							合計	4,112,530円	1,620,000円	

地域力向上事業の評価基準について

評価項目	評価及び判断基準		
事業目的の達成度	A 高い	B 普通	C 低い
地域資源の活用度	A 高い	B 普通	C 低い
地域への貢献度	A 高い	B 普通	C 低い
財政支援の妥当性	A 高い	B 普通	C 低い
費用対効果	A 高い	B 普通	C 低い

助成事業 No. 1

< 令和7年度 > (中央区南行政センター 地域振興担当)

(1)事業名	地域協働防災キャンプ事業 【HAMAMATSU BOSAI READY】	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)								
(3)実施団体名	スポーツ振興団体S RISE										
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災力の向上 ・ 地域の絆と活性化 ・ 地域の魅力発信と観光振興 										
(5)事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">イベント名</td> <td>地域協働防災キャンプ事業(HAMAMATSU BOSAI READY)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td> <td>令和7年4月1日～令和7年6月30日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td> <td>中田島砂丘・砂丘小学校・凧場公園</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <p>1 防災訓練とワークショップ 開催日：5月24日（土）～5月25日（日） 参加者：80名 5月24日は天候不良により防災キャンプ（宿泊）は中止とした。 5月25日は天候が回復したため、地元自治会と協働して防災BBQを開催した。</p> <p>2 ゴミアート企画 開催日：5月23日（金） 参加者：55名 砂丘小学校体育館で、児童と保護者、地域の自治会と一緒に中田島砂丘で拾ったゴミを使用したゴミアート企画を開催した。 製作した作品は5月24日～25日の間、凧場公園に展示した。</p> <p>3 環境トークセッション 開催日：5月24日（土） 参加者：120名 テーマ：浜松の沿岸部で抱える環境問題について ラジオパーソナリティ兼環境活動家・プロサーファー・環境団体（サンクチュアリ）・高校教諭・地域の環境協会会長等、多様な人物が登壇し、各自の保護活動などのトークセッションを行った。</p> </td> </tr> </table> <p>※成果については(9)意見等参照</p>			イベント名	地域協働防災キャンプ事業(HAMAMATSU BOSAI READY)	実施時期	令和7年4月1日～令和7年6月30日	実施場所	中田島砂丘・砂丘小学校・凧場公園	内容	<p>1 防災訓練とワークショップ 開催日：5月24日（土）～5月25日（日） 参加者：80名 5月24日は天候不良により防災キャンプ（宿泊）は中止とした。 5月25日は天候が回復したため、地元自治会と協働して防災BBQを開催した。</p> <p>2 ゴミアート企画 開催日：5月23日（金） 参加者：55名 砂丘小学校体育館で、児童と保護者、地域の自治会と一緒に中田島砂丘で拾ったゴミを使用したゴミアート企画を開催した。 製作した作品は5月24日～25日の間、凧場公園に展示した。</p> <p>3 環境トークセッション 開催日：5月24日（土） 参加者：120名 テーマ：浜松の沿岸部で抱える環境問題について ラジオパーソナリティ兼環境活動家・プロサーファー・環境団体（サンクチュアリ）・高校教諭・地域の環境協会会長等、多様な人物が登壇し、各自の保護活動などのトークセッションを行った。</p>
イベント名	地域協働防災キャンプ事業(HAMAMATSU BOSAI READY)										
実施時期	令和7年4月1日～令和7年6月30日										
実施場所	中田島砂丘・砂丘小学校・凧場公園										
内容	<p>1 防災訓練とワークショップ 開催日：5月24日（土）～5月25日（日） 参加者：80名 5月24日は天候不良により防災キャンプ（宿泊）は中止とした。 5月25日は天候が回復したため、地元自治会と協働して防災BBQを開催した。</p> <p>2 ゴミアート企画 開催日：5月23日（金） 参加者：55名 砂丘小学校体育館で、児童と保護者、地域の自治会と一緒に中田島砂丘で拾ったゴミを使用したゴミアート企画を開催した。 製作した作品は5月24日～25日の間、凧場公園に展示した。</p> <p>3 環境トークセッション 開催日：5月24日（土） 参加者：120名 テーマ：浜松の沿岸部で抱える環境問題について ラジオパーソナリティ兼環境活動家・プロサーファー・環境団体（サンクチュアリ）・高校教諭・地域の環境協会会長等、多様な人物が登壇し、各自の保護活動などのトークセッションを行った。</p>										
(6)総事業費	2,194,629円	(7)補助金額	1,097,000円								

	項目	ランク		
		A	B	C
(8) 評価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い

(9) 意見等

1 事業目的の達成度…B 普通

- ・天候不良により防災キャンプは実施できなかったものの、地域の自治会や観光協会と連携して、防災BBQや炊き出し、アルファ米の調理実演などを実施したことは、防災力の向上と地域の絆の強化に貢献したと考える。
- ・砂丘小学校で実施したゴミアート企画では、地域の小学生・保護者・自治会が一体となって取り組み、地域資源である中田島砂丘における環境問題を共有することで、地域の絆の強化につながった。
- ・浜松初開催のサーフィン国際大会（WSL）や、大会に併せて開催された他のイベント「Namimatsuri」と連携して実施することで、多くの人たちに地域の魅力と課題を認識してもらった機会となった。

2 地域資源の活用度…A 高い

- ・南地域の観光資源である中田島砂丘及び遠州灘海浜公園「凧場公園」を活用した。
- ・砂丘自治会、中田島砂丘観光協会、砂丘小学校など地域の協力を得て事業を実施した。

3 地域への貢献度…A 高い

- ・防災BBQや他のイベントとの連携などによって幅広い世代が参加し、防災意識向上に寄与した。
- ・ゴミアートの製作・展示や、環境トークセッションを実施することで、地域住民をはじめ多くの人が環境問題について考える機会を提供した。

4 財政支援の妥当性…B 普通

- ・防災キャンプを中止したことにより事業規模は縮小したが、事業を通して防災意識向上と地域振興を同時に実現することができ、財政支援の妥当性はあると考える。

5 費用対効果…B 普通

- ・単発の防災イベントではなく他のイベントと連携することで、普段は防災訓練等に参加しない層の目に触れる機会になったことから、費用対効果はあったと考える。
- ・令和8年度も継続して事業を実施することから、地域防災力の強化及び南地域の一層の魅力発信が期待できる。

事業実績書

事業名	地域協働防災キャンプ事業【HAMAMATSU BOSAI READY】
事業主体名 (共催、後援、協力等)	【主催】スポーツ振興団体 S RISE 【協力】砂丘住民「防災キャンプ」有志の会 中田島砂丘観光協会
実施時期	2025年4月1日(火)～2025年6月30日(月)
実施場所	浜松市中央区白羽町付近(中田島砂丘・砂丘小学校・凧場公園内)
参加人数	団体スタッフ35名、参加者255名
事業の内容	<p>【防災キャンプ&マーケットによる魅力発信企画】</p> <p>1. 防災訓練とワークショップ(参加者:80名) 《防災訓練(主催:中田島砂丘観光協会・砂丘町自治会及び凧揚げ会)》 開催日:5月24日(土)～5月25日(日) ※予定していた防災キャンプ(宿泊)は22サイトの申込がありましたが、5月24日は荒天だったため、参加者の安全を考慮し、宿泊を中止としました。 ・5月25日(日) 防災BBQ開催(AM10:00～13:00) ①炊き出し ②アルファ米の調理実演・試食 ③防災BBQのワークショップ 地元自治会と協働した炊き出し、防災時における調理の実演と実食を行いました。普段口にしらないアルファ米や大鍋で提供される豚汁など、有事の際にどのような食事を提供できるかを想定し、自治会の連動した行動も見て知る機会の創出となりました。 また防災BBQでは火おこしから火消しまで、日常では使わない炭を「正しく」使う講習を兼ねたワークショップを行いました。有事の際には資源が豊富にあるわけではありません。通常のBBQなどでは無駄な火力の使用などもありますが、限られた炭で最大限の火力を利用するなど、有事の際の危機管理も含めたワークショップを開催しました。</p> <p>2. ゴミアート企画(参加者:55名) 開催日:5月23日(金) 砂丘小学校体育館で児童とその保護者、地域の自治会で、中田島砂丘で拾ったゴミを使用したゴミアート講座を開催しました。ビーチクリーンで収集したゴミを顕在化し、どんなゴミがあるのかを知る機会を提供しました。またプロサーファーも共に活動を行い、「海は資源」との認識を深める時間となりました。 製作した作品はイベント会場(凧場公園)に展示しました。砂丘小学校と浜松市美術館の協力を頂き、多くの来場者の方々の目に触れる機会となりました。</p> <p>3. 環境トークセッション(参加者:120名) 開催日:5月24日(土) 出演者:鉄崎幹人(ラジオパーソナリティ)、三浦涼(JPSAプロサーファー)、佐々木善之(サンクチュアリNPO)、萩哲也(オイスカ浜松国際高等学校)、松下克己(中田島砂丘観光協会代表) テーマ:浜松の沿岸部が抱える環境問題について</p>

	<p>SBS ラジオパーソナリティでもあり、NPO 法人サステナジャパンの副理事長でもある鉄崎氏にファシリテーター兼環境活動家として参加をしていただき、浜松のプロサーファーの三浦氏、地元環境団体のサンクチュアリからは佐々木氏、オイスカ高校からは萩先生、中田島砂丘観光協会から松下氏にご登壇頂き、沿岸での環境問題や各自の保護活動などのトークセッションを開催しました。</p> <p>それぞれが抱える問題の共有や、どのような方向を浜松は目指すべきかなど、忌憚なき意見交換を行いながら、環境を自分事として捉えるための時間を創出しました。</p>
事業目的の達成度	<p>1. 地域防災力の向上</p> <p>5月24日(土)の天候不良により、防災キャンプが中止となってしまったため、観光客やレジャー参加者も巻き込んだイベントとはなりませんでした。翌日に行った防災BBQでは、地元の自治会や観光協会と連携して実施することができました。事前準備は行ってきたので、参加者の防災意識向上は、しっかりと達成できたと思われまます。</p> <p>2. 地域の絆と活性化</p> <p>中田島砂丘の海岸で拾ったゴミを使用したゴミアートを企画し、地元の小学校・自治会と協働して行うことができ、本エリアが抱える環境問題について、深く探求する機会となりました。</p> <p>地域に住む子供達が自分事と捉える機会にもなり、シビックプライドの熟成にも繋がりました。</p> <p>3. 地域の魅力発信と観光振興</p> <p>WSL(ワールドサーフリーグ)、Namimatsuri(複合イベント)と連携することで、中田島地域の魅力を地域外の方々へ発信することができました。</p> <p>来場者に事業目的を知ってもらうために多くの外的要因を活用し、相乗効果を兼ねた企画でしたが、多くの来場者の知る機会に繋がりました。</p>
地域資源の活用度	<ul style="list-style-type: none"> ・中田島砂丘及び遠州灘海浜公園「凧場公園」の活用 <p>浜松まつりの凧揚げ会場でもある、広大な遠州灘海浜公園「凧場公園」を利用することで、その他複合イベントと連携して防災キャンプ事業を行うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会や観光協会などの地域住民との連携 <p>砂丘町自治会、砂丘住民「防災キャンプ」有志の会、中田島砂丘観光協会、砂丘小学校など、地域の協力を得て事業を実施することができました。</p> <p>遠州浜という唯一無二の環境資源を活用し、知る機会にも繋げることができました。この地に足を運ぶきっかけとなる本事業は、この地域の魅力を知る機会にも繋がります、事業内容以上の「知る機会」の創出になりました。</p>
地域への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・防災BBQや複合イベントとの連携など、若い世代でも参加しやすくすることで、地元の若年層の防災意識向上に寄与したと考えます。 ・地域資源でもある中田島砂丘で収集したゴミの見える化を行うことで、環境問題に対する来場者の関心度の向上、並びに参加者の意識向上に貢献できました。 ・地元小学生の皆さんが、事前の企画だけでなく、事業当日にも多く参加して頂き、改めて地域を知る機会、地域を愛する機会になったと思います。
財政支援の妥当性	<p>当初予算額よりも縮小となる結果とはなりましたが、事業を通して防災意識の向上と地域振興を同時に実現することができ、補助金を有効に活用できたと考えます。</p> <p>天候には恵まれませんでした。準備段階から事業実施に至るまで、補助を頂けたことで有意義な活動を行うことに繋がりました。</p>

費用対効果	<p>防災キャンプ事業やゴミアート企画から地域が抱える問題を再認識する機会を提供できたこと及び、凧場公園で複合イベントと合わせて開催したことで、より多くの来場者の方に南地域の魅力を再発見する機会を提供できたため、費用対効果は高いと考えます。</p> <p>単発の事業では集客が難しく、周知が難しいなか、複合イベントとすることで本来重ならない層が互いを知る機会になったため、補助額以上の費用対効果が生まれたと思います。</p>
今後の方向性	<p>来年度も継続して活動を行い、防災と環境の面から地域力を向上させる一助にすることができればと思います。</p> <p>また次年度は、地元小学校との連携を深めて、地域の防災のみならず、海を活用した「地域教育」の観点からも活動を展開したいと考えております。</p>
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	1,097,000	1,097,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	2,194,629	2,194,629			

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報償費	○	220,000	110,000	110,000		・ステージイベント出演¥110,000 ・防災 BBQ 講師費¥110,000
賃金	○	390,676	390,676			・当日運営スタッフ活動日当¥66,176 ・セキュリティ警備員費用¥44,000 ・防災キャンプ交通誘導警備費用¥280,500
需用費 (消耗品費)	○	133,538	268,598		△135,060	・備品(セロテープ)¥3,455 ・備品(ボンド)¥3,110 ・備品(軍手)¥6,000 ・備品(使い捨て容器)¥3,778 ・備品(ライン引き)¥5,980 ・耐火シート 2m*3m*3 枚 ¥44,940 ・備品(スプレーのり)¥6,105 ・備品(お菓子詰め合わせ)¥9,720 ・備品(ラインパウダー)¥5,120 ・備品(結束バンド)¥41,850 ・現況復旧穴埋め芝生 ¥3,480

役務費 (保険料)	○	7,415	7,415			・イベント保険 ¥7,415
役務費 (通信費)	○	15,000	15,000			・通信費 ¥15,000
委託費	○	1,428,000	1,358,000	70,000		<ul style="list-style-type: none"> ・記録撮影費 ¥60,000 ・来場者振る舞い炊き出し ¥180,000 ・BBQ 会場設営費 ¥110,000 ・BBQ 材料費 ¥88,000 ・HAMAMATSU OPEN 委託費 ¥990,000 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 誘導警備員費用 3人×28,050×2DAYS=¥168,300 ② イベントゴミ回収費 ¥22,000 ③ 会場周囲仮囲い ¥357,500 ④ 会場内 テント ¥110,000 ⑤ ミーティング会場賃料 6回×2,200円=¥13,200 ⑥ 会場賃料サッカー場使用料 ¥22,000 ⑦ 公園内臨時駐車場設営費 ¥22,000 ⑧ 設営費撤去費 ¥220,000 ⑨ チラシ等デザイン費 (印刷費込み) ¥22,000
使用料 及び賃 借料	○	0	44,940		△44,940	
計		2,194,629	2,194,629	180,000	△180,000	
うち補助 対象経費		2,194,629	2,194,629			

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 2

＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区南行政センター 地域振興担当 ）

(1)事業名	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり	(2)採択回数	3回目 (補助率25%以内)								
(3)実施団体名	NPO法人水辺の里まちづくりの会										
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地拡大防止、農地保全、環境整備 ・そば打ち、農業体験で希薄化進行中のコミュニティ再生 ・昔ながらの農業体験で、「和食」の心を児童や外国籍住民に教育宣伝、世界遺産の精神を会得してもらう。 										
(5)事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">イベント名</td> <td style="text-align: center;">耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td> <td style="text-align: center;">令和7年4月1日～令和8年3月31日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td> <td style="text-align: center;">浜松市中央区河輪町、東町、連合会公民館、河輪小学校 等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1 荒れ農地でのそばを栽培 参加者：42名 そば栽培を通して耕作放棄地を有効活用した。 そばの収穫量は約50kgと、昨年度の約5倍の収穫量となった。 2 そば打ち体験会の実施 参加者：80名 月2回そば打ち体験会を行った。 8月には河輪小の児童たちを対象に、そば打ち体験会と試食会を行った。 3 地域の小学校（河輪小）との交流 参加者：83名 河輪小学校の総合授業の一環として、農業体験学習の場を提供した。 児童と中高年者が街づくりの未来を考える「地方創生まちづくりワークショップ」に参加した。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※成果については(9)意見等参照</p>			イベント名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり	実施時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日	実施場所	浜松市中央区河輪町、東町、連合会公民館、河輪小学校 等	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 荒れ農地でのそばを栽培 参加者：42名 そば栽培を通して耕作放棄地を有効活用した。 そばの収穫量は約50kgと、昨年度の約5倍の収穫量となった。 2 そば打ち体験会の実施 参加者：80名 月2回そば打ち体験会を行った。 8月には河輪小の児童たちを対象に、そば打ち体験会と試食会を行った。 3 地域の小学校（河輪小）との交流 参加者：83名 河輪小学校の総合授業の一環として、農業体験学習の場を提供した。 児童と中高年者が街づくりの未来を考える「地方創生まちづくりワークショップ」に参加した。
イベント名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり										
実施時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日										
実施場所	浜松市中央区河輪町、東町、連合会公民館、河輪小学校 等										
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 荒れ農地でのそばを栽培 参加者：42名 そば栽培を通して耕作放棄地を有効活用した。 そばの収穫量は約50kgと、昨年度の約5倍の収穫量となった。 2 そば打ち体験会の実施 参加者：80名 月2回そば打ち体験会を行った。 8月には河輪小の児童たちを対象に、そば打ち体験会と試食会を行った。 3 地域の小学校（河輪小）との交流 参加者：83名 河輪小学校の総合授業の一環として、農業体験学習の場を提供した。 児童と中高年者が街づくりの未来を考える「地方創生まちづくりワークショップ」に参加した。 										
(6)総事業費	509,301円	(7)補助金額	127,000円								

	項目	ランク		
		A	B	C
(8) 評価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い

(9) 意見等

1 事業目的の達成度…A 高い

- ・前年、前々年に引き続き、そば栽培を通して地域の耕作放棄地を有効活用し、農地の保全、環境整備に寄与した。
- ・そば栽培、そば打ち体験を通して世代間交流ができ、希薄化するコミュニティの再生に寄与した。
- ・河輪小学校の児童たちに農業体験学習の場を提供することで、若年層をはじめ、外国籍の児童や保護者など幅広い人達に対して、日本の食文化や農業文化への理解を深める機会を提供することができた。

2 地域資源の活用度…A 高い

- ・栽培に適した耕作放棄地や地域の公民館を有効的に活用した。
- ・農業や調理経験が豊富な地元シニア世代の人材を活用することで、地域の知識や技術を活かすことができた。

3 地域への貢献度…A 高い

- ・耕作放棄地を活用することで、農地の環境整備、景観向上、通学路の安全、安心の確保に寄与した。
- ・そば打ち体験や複数の地域イベントでの振る舞い、小学校での農業体験等を通して世代間交流や地域コミュニティ再生に貢献した。

4 財政支援の妥当性…A 高い

- ・耕作放棄地対策、地域コミュニティの活性化を目的として3年間継続して実施している事業であり、今年度は地域児童の教育にも寄与している点から財産支援の妥当性は高い。

5 費用対効果…B 普通

- ・参加予定人数480人に対し、実際の参加人数は300人と予定数には届かなかったが、小学生を対象とした活動を今年度は積極的に行った点を評価した。

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり		
事業主体名 (共催、後援、協力等)	NPO 法人 水辺の里まちづくりの会 協力 町内会 連合自治会 河輪小学校 シニアクラブ 等		
実施時期	令和7年4月1日(火) ～ 令和8年3月31日(火)		
実施場所	中央区河輪町 東町 連合会公民館 河輪小学校 等		
参加人数	団体スタッフ 20名、参加者 延べ300名		
事業の内容	令和7年度における主要な活動は以下のとおり		
	時期	内容	参加人数
	4月	ハト対策ネット外し、雑草刈り	12人
	5月26日	収穫	8人
	6月6日	小学生(河輪小) 農業体験	9人、児童35人
	9月	畑、周辺除草	4人
	10月11日	河輪秋まつり (そば打ち・振る舞い提供)	17人
	10月19日	連合会ふれあいまつり (そば打ち、振る舞い提供)	19人
	11月17日 19日	小学生(河輪小) 農業体験	9人、児童30人
	2月	そば施肥畝	6人
	2月6日、7日	小学生(河輪小) 地域見学	6人
	3月11日	そば種まき、ネット張り	12人
<p>①荒れ農地でのそば等の栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば栽培を通して遊休農地の拡大を防止した。 ・今年も大雨・高温続きだったが、鳥対策・除草等の管理徹底により収穫量は50kgとなった。(令和6年度：約10kg) <p>②そば打ち体験会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回そば打ち体験会を実施した。 ・8月には河輪小の児童たちを対象に、そば打ちの体験と試食会を行った。 <p>③地域の小学校(河輪小)との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河輪小学校の総合授業の一環として、農業体験学習の場を提供した。 ・児童と中高年者が街づくりの未来を共創する「地方創生まちづくりワークショップ」に参加。 ・児童との交流が、事業を行っていく上で大きな励みとなった。 			

事業目的の達成度	<p>①遊休農地拡大防止、農地保全、環境整備 前年、前々年に引き続き遊休農地でそば栽培を行うことで、農地保全整備や周辺の景観保持に繋がった。</p> <p>②そば打ち、農業体験で希薄化進行中のコミュニティ再生 そば打ちや農業体験を通して世代間交流ができ、希薄化するコミュニティ再生に寄与した。</p> <p>③農業体験学習の提供 河輪小学校の児童たちが、そばを「収穫～そば打ち（調理）～食べる」まで体験し学ぶ機会を提供することができた。 6月に行ったそばの実を選別する授業の様子が静岡新聞に取り上げられ、地域の人たちに活動を知ってもらい良い機会となった。</p>
地域資源の活用度	<ul style="list-style-type: none"> ・活用されていない遊休土地や既存の公民館といった地域施設を有効的に活用した。 ・農業や調理に豊富な経験を持つ地元シニア世代の人材を活用することで、地域の知識・技術を活かすことができた。
地域への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れ農地の活用により、農地の防災機能向上と環境保全に貢献した。 ・そば打ち体験を通じた地域住民の交流促進は、コミュニティの活性化に貢献し、地域社会の結束力を高めることができた。 ・児童農業体験に、保護者も一緒に参加してもらい機会があり、結果として外国籍の保護者の参加にも繋がった。これにより、様々な背景を持つ人々が参加する機会が生まれ、また日本食文化への理解を深める機会を提供できた。
財政支援の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨被害の防止、景観・環境改善に貢献する遊休農地対策と、地域愛着の向上やコミュニティ活性化、子どもたちの農業体験学習を組み合わせた事業であり、財政支援の妥当性が高い。 ・単年度に留まらず3年間継続したことによって、イベントの地域定着とコミュニティ再生効果が増大したと考える。
費用対効果	<p>本事業を通して、以下の効果を上げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地対策による環境改善 ・地域住民300人規模の参加による地域活性化 ・学校からの高評価を得た児童の農業体験 <p>これらの効果を踏まえると、事業にかかった経費に対して得られた効果は十分であり、費用対効果の点で適当であったと考える。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・財源をどのように確保していくかが課題であるが、地域から新たな荒れ農地の活用等、事業の継続を期待されていることから、継続実施を検討している。（新たな荒れ農地について、現在栽培、耕起を企画中）
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	127,000	129,000		△2,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	509,301	520,968		△11,667	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
賃金	○	213,040	213,004	36		栽培（畑耕起、種蒔き、除草他）、収穫、児童体験指導、そば打ち、振る舞い等 12名
消耗品費 (需用費)	○	48,856	53,794		△4,938	USB 1,280円 風よけネット等 1,938円 文房具 11,442円 容器 3,080円 真空パック装置等 11,836円 予備鍵 450円 蛇口 1,298円 作業手袋等 2,405円 コネクター 746円 ケーブル 547円 クサビ 250円 支柱等 7,330円 防鳥網 1,364円 そば紙 1,400円

						ビニールロープ等 3,490円
使用料及び 賃借料	○	59,095	59,095			そば打ち会場使用料 20回：9,095円 トラクター、コンバイン 賃借料 50,000円
原材料費	○	188,310	195,075		△6,765	そば粉 169,700円 そば種子 6,270円 肥料等 11,047円 天然水 1,293円
計		509,301	520,968	36	△11,703	
うち補助対象経費		509,301	520,968			

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 3

< 令和7年度 > (中央区南行政センター 地域振興担当)

(1)事業名	地域交流 健康増進/防災意識向上 イベント	(2)採択回数	3回目 (補助率25%以内)								
(3)実施団体名	医療法人社団綾和会 浜松南病院										
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを通じて地域住民の健康増進、防災意識の向上 ・ 若年者を含めた地域のコミュニティの活性 ・ 若年時から始める健康管理 										
(5)事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">イベント名</td> <td style="text-align: center;">地域交流 健康増進/防災意識向上イベント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td> <td style="text-align: center;">令和7年8月1日～令和8年3月31日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td> <td style="text-align: center;">浜松市中央区白羽町26番地</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <p>1 遠州健幸マルシェ 開催日：10月5日（日）午前10時～午後3時 参加者：1,000名</p> <p>①健康増進や防災意識向上を図るブースの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進イベント 講演、体組成測定（Inbody）・骨密度測定・手洗いチェック ・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介、脳年齢チェックを実施した。 ・ 防災意識向上イベント 防災クッキング、消防車・救急車展示、防災体験（けむり体験、水消火器を使用した消火体験）、防災グッズ展示、ステージイベント（アイドル谷本尚穂さんによる防災講座）を実施した。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベント 高齢者体験、お薬分包体験、ポッチャ体験、「ころやわ」マット体験、福祉車両・セニアカー体験を実施した。 ・ 若年層の参加促進イベント 地域の学生による吹奏楽演奏・和太鼓演奏・書道パフォーマンス ・ お菓子販売、浜松アイドルユニットH&A. ライブ、縁日ブース、キッチンカーの出店を実施した。 <p>②医療講演会の開催（各1回）。 演目として、「南でもリハビリ体操」、「画像診断で目指す、がん・認知症の早期発見」を実施した。</p> <p>2 ブルーライトアップ 参加者：300名 世界糖尿病デーの周知と糖尿病予防の啓発を目的に、病院を10月5日～6日の間ブルーライトアップを実施した。</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※成果については(9)意見等参照</p>			イベント名	地域交流 健康増進/防災意識向上イベント	実施時期	令和7年8月1日～令和8年3月31日	実施場所	浜松市中央区白羽町26番地	内容	<p>1 遠州健幸マルシェ 開催日：10月5日（日）午前10時～午後3時 参加者：1,000名</p> <p>①健康増進や防災意識向上を図るブースの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進イベント 講演、体組成測定（Inbody）・骨密度測定・手洗いチェック ・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介、脳年齢チェックを実施した。 ・ 防災意識向上イベント 防災クッキング、消防車・救急車展示、防災体験（けむり体験、水消火器を使用した消火体験）、防災グッズ展示、ステージイベント（アイドル谷本尚穂さんによる防災講座）を実施した。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベント 高齢者体験、お薬分包体験、ポッチャ体験、「ころやわ」マット体験、福祉車両・セニアカー体験を実施した。 ・ 若年層の参加促進イベント 地域の学生による吹奏楽演奏・和太鼓演奏・書道パフォーマンス ・ お菓子販売、浜松アイドルユニットH&A. ライブ、縁日ブース、キッチンカーの出店を実施した。 <p>②医療講演会の開催（各1回）。 演目として、「南でもリハビリ体操」、「画像診断で目指す、がん・認知症の早期発見」を実施した。</p> <p>2 ブルーライトアップ 参加者：300名 世界糖尿病デーの周知と糖尿病予防の啓発を目的に、病院を10月5日～6日の間ブルーライトアップを実施した。</p>
イベント名	地域交流 健康増進/防災意識向上イベント										
実施時期	令和7年8月1日～令和8年3月31日										
実施場所	浜松市中央区白羽町26番地										
内容	<p>1 遠州健幸マルシェ 開催日：10月5日（日）午前10時～午後3時 参加者：1,000名</p> <p>①健康増進や防災意識向上を図るブースの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進イベント 講演、体組成測定（Inbody）・骨密度測定・手洗いチェック ・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の紹介、脳年齢チェックを実施した。 ・ 防災意識向上イベント 防災クッキング、消防車・救急車展示、防災体験（けむり体験、水消火器を使用した消火体験）、防災グッズ展示、ステージイベント（アイドル谷本尚穂さんによる防災講座）を実施した。 ・ その他医療や福祉への関心を高めるイベント 高齢者体験、お薬分包体験、ポッチャ体験、「ころやわ」マット体験、福祉車両・セニアカー体験を実施した。 ・ 若年層の参加促進イベント 地域の学生による吹奏楽演奏・和太鼓演奏・書道パフォーマンス ・ お菓子販売、浜松アイドルユニットH&A. ライブ、縁日ブース、キッチンカーの出店を実施した。 <p>②医療講演会の開催（各1回）。 演目として、「南でもリハビリ体操」、「画像診断で目指す、がん・認知症の早期発見」を実施した。</p> <p>2 ブルーライトアップ 参加者：300名 世界糖尿病デーの周知と糖尿病予防の啓発を目的に、病院を10月5日～6日の間ブルーライトアップを実施した。</p>										
(6)総事業費 (補助対象経費)	1,108,278円	(7)補助金額	246,000円								

	項目	ランク		
		A	B	C
(8) 評価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い

(9) 意見等

1 事業目的の達成度…A 高い

- ・参加予定数1,100人に対し、約1,300人の地域住民が参加した。
- ・今回は若年者が参加しやすいイベントを行うことで、昨年度以上に幅広い世代が参加した。

2 地域資源の活用度…A 高い

- ・市内の企業・福祉機関・行政や南地域の学生等、地域の多様な団体の賛同と協力を得ている。
- ・南地域の津波避難ビルに指定されている浜松南病院でイベントを実施した。
- ・イベントスタッフとして、浜松南病院の病院職員が参加した。
- ・イベントの一部では病院で日常的に使用されている医療機器を活用した。

3 地域への貢献度…A 高い

- ・今回3回目の事業ということで地域で広く周知されており、イベントに約1,000人の地域住民が参加していることから、地域にとって病気や災害に対する意識を高める良い機会となっている。

4 財政支援の妥当性…A 高い

- ・医療に関する専門知識・教養を有する病院職員が医療機器による健康チェック等を実施したことで、来場者の誰もが関係のある体の健康について助言・説明が受けられ、実効性及び公益性を有している。
- ・南地域の課題である防災に関するイベントを、地域の避難ビルにも指定されている病院が地域住民に対して実施していることは、非常に意義のあることであり、財政支援の妥当性は高い。

5 費用対効果…A 高い

- ・イベントの趣旨に賛同した地元企業・団体・行政が無償で協力したことで経費を抑えながら、約1,300人の地域住民に健康増進と防災の体験機会を提供できたことから、費用対効果は高い。

事業実績書

事業名	地域交流 健康増進/防災意識向上イベント
事業主体名 (共催、後援、協力 等)	医療法人社団 綾和会 浜松南病院 【協力】 ● (株) スズキ自販浜松 ● ミドリ安全浜松(株) ● (一財) 浜松光医学財団 浜松 PET 診断センター ● 地域包括支援センター三和・新津 ● 浜松南高校書道部 ● 浜松江之島高校美術部 ● 浜松南部中学吹奏楽部 ● 浜松修学舎中学校・高等学校夢みらい科郷土芸能部 ● 東海調理製菓専門学校 ● 浜松市健康医療課 ● 南消防署 白脇出張所 ● (株) Magic Shields ● (株) パイフォトニクス ● (株) HERO' S Academy ● 浜松市ウェルネス推進事業本部 ● (株) タイカ ● 浜名梱包輸送(株) ● アオイ楽器店 ● (株) 星医療酸器 ● (株) フィリップス・ジャパン ● ソフィアメディ ● 浜松エフエム放送(株) ● 愛 WORLD ● とんかつ新宿さぼてん ● 愛管(株)
実施時期	2025年8月1日(金) ~ 2026年3月31日(火)
実施場所	浜松南病院(浜松市中央区白羽町26番地)
参加人数	団体スタッフ 80名、参加者 約1,300名

<p>事業の内容</p>	<p>(1)「遠州健幸マルシェ」の開催 【日時】10月5日(日)午前10時～午後3時 【場所】浜松南病院内、駐車場 【参加者数】約1,000名 【内容】(イベントの様子は別紙参照) ①健康増進や防災意識向上を図るブースの出展 ○屋内プログラム ・医療講演 「南(なん)でもリハビリ体操」 「画像診断で目指す、がん・認知症の早期発見と予防」 ・リハビリ室見学 ・体組成測定(Inbody) ・防災クッキング ・高齢者体験 ・骨密度測定 ・手洗いチェック ・お薬分包 ・ボッチャ競技体験 ・「ころやわ」マット体験 ・はままつ健幸クラブ アプリ紹介 ・浜松PET検診センター 「脳年齢チェック」 ○屋外プログラム ・消防車両、救急車両展示 ・防災体験(けむり体験、水消火器を使用した消火体験) ・防災グッズ展示 ・セニアカー、福祉車両展示 ・ステージイベント 「南部中学校吹奏楽部 吹奏楽演奏」 「アイドル谷本尚穂さんによる防災講座」 「浜松アイドルユニットH&A.ライブ」 「浜松修学舎高校郷土芸能部 和太鼓演奏」 ・縁日ブース(射的、メダカすくい) ・キッチンカーの出店 ・東海調理製菓専門学校 お菓子販売 ・FM Haro「出張!お気楽ドクターのラジオ・ホスピタル in 遠州健幸マルシェ」の生放送</p>
--------------	---

	<p>②医療講演会の開催（各1回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ科長「南でもリハビリ体操」 ・浜松 PET 検診センター「画像診断で目指す、がん・認知症の早期発見と予防」 <p>(2)ブルーライトアップの実施</p> <p>【日時】10月5日（日）午後5時～6日（月）午前9時</p> <p>【参加者数】約300名</p> <p>【内容】世界糖尿病デーの周知と糖尿病予防の啓発を目的に病院建物にブルーライトアップを実施</p>
<p>事業目的の達成度</p>	<p>・イベントを通じた地域住民の健康増進、防災意識向上</p> <p>本イベントでは1,000名ほどの地域住民が参加し、骨密度測定の実験ブースでは180名を超える方々が検査を体験され、浜松市ウエルネス推進事業（はままつ健幸クラブ）においても、多数の新規利用者を獲得したなどから、地域住民の健康増進の一翼を担えたものと判断します。</p> <p>また、防災意識の向上についても、救急車両、防災用品の展示のみならず、煙避難体験、水消火器を用いた消火体験、栄養科による防災クッキング、さらにはアイドルであり、防災士でもある谷本尚穂さんによる防災講座など、防災関連のブースを多角的に展開することでより多くの方に興味を持って参加していただく事で、防災意識の向上に結びついたものと考えます。</p> <p>以上の点から当初設定した事業目的「イベントを通じた地域住民の健康増進/防災意識向上」「若年者を含めた地域コミュニティの活性」「若年時から始める健康管理」の3項目について、総合的に判断した結果、概ね当初の目的を達成できたと評価します。</p>
<p>地域資源の活用度</p>	<p>本事業においては、当院が有する専門性の高い資源および地域における広範な協力体制を最大限に利用することで、事業目的の達成を強力に推進しました。</p> <p>1. 専門性の高い人材・物的資源の活用</p> <p>参加スタッフはすべて実務経験豊富な病院職員（総勢80名）で構成いたしました。これにより、健康指標測定、指導ブースにおいて質の高い専門的知見と個別指導を提供することが可能となりました。また、病院で日常的に使用されている医療機器を啓発活動に導入することで、参加者の健康に対する意識向上効果を高めました。</p> <p>2. 地域防災拠点としての施設機能の活用</p> <p>当院は南地域における津波避難ビルに指定されており、また災害時における救護病院としても指定を受けています。当院をイベント会場として使用することで地域住民のみならず避難経路の具体的な確認を促すことができました。また同時に防災に関するブースや講演を数多く展開し、平時における防災意識</p>

	<p>の強化に関与いたしました。</p> <p>3. 広範な「産官学」連携体制の構築 当イベントの趣旨に賛同いただいた地域の民間企業、中学校ほか各種学校、消防署、行政機関と連携する広範な「産学官協力体制」を構築しました。各機関の持つ専門的な知見、ネットワークを活用することで、防災意識および健康管理の啓発活動を単独の事業としてではなく、地域全体へ効果的に浸透させることができました。</p>
地域への 貢献度	<p>1. 課題に対する予防、対策意識の向上 地域課題：病気・災害等の有事に対する予防/対策が不十分 貢献内容：単に意識を向けるだけではなく、具体的な行動に繋げるための予防と対策に特化した体験型プログラムを数多く企画し、提供しました。具体的には「防災クッキング」を通じて日常の食生活と災害の備えを連携させ、「手洗いチェック」で感染症予防の基本を再確認いただきました。また「はままつ健康クラブ」アプリの紹介を通じ参加者がイベント後も継続的に健康管理に取り組める環境を整備しました。これらの活動を通じ、有事に対する受動的な意識ではなく、能動的な予防・対策のきっかけを提供できました。</p> <p>2. 地域コミュニティ創出と活性化 地域課題：コミュニティの場が少ない 貢献内容：約1,000名という多岐にわたる世代の近隣住民に会場いただく事で、大規模かつ多世代交流型の地域コミュニティの場を創出することができました。来場者同士が医療や健康、防災といった共通のテーマのもとで交流を深める機会を提供し、地域住民の皆様に対し、新たな社会的なつながりを持つきっかけを提供できました。本事業は単発のイベントに留まらず、継続して行う事で地域交流の起点として機能し、地域社会の活性化に貢献いたしました。</p>
財政支援の 妥当性	<p>当院が中心となって事業を推進した最大の特徴は、地域に根差した医療機関でなければ提供できない専門的かつ実践的なプログラムを展開した点にあります。</p> <p>1. 医療の専門性 本事業の特徴：病院職員 80 名による専門的な情報提供や指導と、実機を用いた健康測定・啓発活動。 行政施策との違い：一般的な健康診断や行政主催の啓発セミナーでは対応が難しい、専門知識に基づく各個に合わせた具体的なアドバイスを提供。</p> <p>2. 複合的なテーマ 本事業の特徴：「健康増進」「防災意識向上」「コミュニティ活性」を複合的に統合した体験型イベント 行政施策との違い：行政では難しいと思われる複合的なプログラムを展開し、地域住民の生活全体を見据えた包括的なアプローチを実践。</p>

	<p>3. 若年層の参画促進 本事業の特色：中高生を含む若年層の方に出演や出展の形でイベントに参加していただく事で、イベントを「自分事」として捉えていただく参加モデルを構築。</p> <p>行政との違い：高齢者中心になりがちな地域の活動に対し、将来的な地域活動の担い手を育成する仕組みを導入。</p> <p>これにより行政の行う啓発活動とは異なる、地域固有の資産を活かした自主的な地域活性化のモデルケースを確立しました。</p> <p>また補助金については単なるイベント運営費としてではなく「行政施策では実現しにくい専門性の付加」と「広報、縁日イベントなどより幅広く地域の皆様に来場いただくため」の投資として機能いたしました。</p>
費用対効果	<p>1. 直接的な効果 約1,000名の地域住民に対して質の高い健康増進および防災意識向上に関する体験機会を提供し、専門性の高い病院職員（80名）が参加したことで、単なる啓発活動に留まらない、個別かつ具体的な健康アドバイスを提供することができ、健康意識の醸成に寄与しました。</p> <p>2. 間接的な効果 イベントの趣旨に賛同いただいた地元企業、各種学校、行政の協力者に対しても、間接的に健康、防災に対する啓発活動が行えました。また、昨年引き続き産学官の連携を行う事で将来的な自主コミュニティ活動の基盤を確固たるものとなりました。</p> <p>3. 経費の効率的な運用 イベントの趣旨とその公益性にご賛同いただき、多くの地元企業、団体、行政より人的リソースや資材を無償で提供いただきました。これにより本来であれば多額の人件費、運営費が必要となるプログラムの数々を、極めて効率的な経費で実現できました。</p>
今後の方向性	<p>本事業は、地域社会の健康増進、防災意識向上、および多世代コミュニティ形成において、極めて高い有効性と需要があることが実証されました。そのため、来年度以降も事業を継続し、活動を定着化させる方針です。</p> <p>これまでのイベント運営で培った地元企業、各種学校、行政との関わりを深めながら、地域の活性化と健康、防災意識向上に寄与していきたいと思っています。</p>
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	246,000	246,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	2,005,278	2,005,310	0	32	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報償費	○	44,000	44,000			イベント出演料(防災士/災害備蓄管理士トークショー&ミニライブ)
消耗品費	○	292,957	292,989		32	参加賞：大人用ペットボトル飲料 24 本入×23 ケース (40,539 円) 参加賞：子供用お菓子袋詰め(112.4円×300個=33,720 円) 資料配布用袋 100 枚セット (1,454 円×9セット=13,086 円) 除菌シート (1,507 円×6=9,042 円) アルコール消毒 12 本セット (7,600 円×3箱=22,800 円) 養生テープ (308 円×50 個=15,400 円)

					<p>講演使用教材：パンフレット 110 部 11,770 円（※送料含む） / ゴムバンド 2 箱（2,288 円×2 箱=4,576 円） スタンプカード（429 円×10 袋=4,290 円） スタンプ台：220 円 検査用印刷用紙 1 箱（16,500 円） 薬包紙 1 ケース（32,725 円） 題字 3 枚：12,463 円 ※浜松南高校立て替え支払い分 題字掲示用立て看板（3 枚分）：9,957 円 企画消耗品：個別ブース （災害クッキング：13,154 円） （手洗いチェック：25,384 円） （骨密度：294 円） （配布用風船：3,397 円） （縁日：19,359 円） （お薬分包：3,248 円） （ポッチャ：1,033 円）</p>
宣伝費	○	220,000	220,000		ラジオ生放送（機材等一式）220,000 円
印刷製本費	○	99,661	99,661		<p>イベントパンフレット（A4）：5,000 部（14,718 円） イベントパンフレット（A4、追加分）：1,000 部（38,588 円） イベントパンフレット</p>

						ト(A3):800部(15,192円) チラシ NP 請求書払い(880円) 検査用紙印刷費(30,283円)
使用料及び賃借料	○	451,660	451,660			ブルーライトアップ:123,750円 テント:(13,200円×8張=105,600円) ※1張につきウエイト4個含む) パイロン(440円×20個=8,800円) 屋外放送用機材(一式):68,860円 ステージ一式:36,300円 スロープ(台含む):23,100円 縁日用品:8,250円 IHヒーター:4,400円 コードリール:(1,100×2巻=2,200円) 骨密度測定器:70,400円
衣装費		897,000	897,000			イベント用法被 80着:897,000円
計		2,005,278	2,005,310		32	
うち補助対象経費		1,108,278	1,108,310		32	

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 4

＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区南行政センター 地域振興担当 ）

(1)事業名	秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)								
(3)実施団体名	秀吉ゆかりの頭陀寺城を語る会										
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年1月から放送されている大河ドラマ「豊臣兄弟！」の兄豊臣秀吉ゆかりの頭陀寺城や周辺にある文化財を広報し、大河ドラマの影響で集まる観光客を呼び込み地域の活性化を図る。 ・ 地域住民が地元の歴史に興味・関心を持つ機会を提供する。 										
(5)事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">イベント名</td> <td>秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td> <td>令和7年10月27日～令和8年3月31日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td> <td>浜松市中央区頭陀寺町</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> 1 案内マップ 頭陀寺城跡（松下屋敷跡）作成 秀吉ゆかりの頭陀寺城跡周辺お散歩マップを5,500部印刷し、頭陀寺町内及び観光関連施設へ配布した。 2 学識経験者による講座 実施日：3月29日（日）午後2時 会 場：不二閣 元頭陀寺幼稚園体育館2階 頭陀寺境内 演 題：頭陀寺城時代の豊臣秀吉 講 師：大場 康弘 氏 参加者：30名 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※成果については(9)意見等参照</p>			イベント名	秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業	実施時期	令和7年10月27日～令和8年3月31日	実施場所	浜松市中央区頭陀寺町	内容	1 案内マップ 頭陀寺城跡（松下屋敷跡）作成 秀吉ゆかりの頭陀寺城跡周辺お散歩マップを5,500部印刷し、頭陀寺町内及び観光関連施設へ配布した。 2 学識経験者による講座 実施日：3月29日（日）午後2時 会 場：不二閣 元頭陀寺幼稚園体育館2階 頭陀寺境内 演 題：頭陀寺城時代の豊臣秀吉 講 師：大場 康弘 氏 参加者：30名
イベント名	秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業										
実施時期	令和7年10月27日～令和8年3月31日										
実施場所	浜松市中央区頭陀寺町										
内容	1 案内マップ 頭陀寺城跡（松下屋敷跡）作成 秀吉ゆかりの頭陀寺城跡周辺お散歩マップを5,500部印刷し、頭陀寺町内及び観光関連施設へ配布した。 2 学識経験者による講座 実施日：3月29日（日）午後2時 会 場：不二閣 元頭陀寺幼稚園体育館2階 頭陀寺境内 演 題：頭陀寺城時代の豊臣秀吉 講 師：大場 康弘 氏 参加者：30名										
(6)総事業費	300,322円	(7)補助金額	150,000円								

	項目	ランク		
		A	B	C
(8) 評価	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5 費用対効果	高い	普通	低い

(9) 意見等

1 事業目的の達成度…B 普通

- ・大河ドラマ「豊臣兄弟！」ゆかりの地である頭陀寺城等の案内マップ作成や、マップを活用した講座を実施することにより、豊臣秀吉と頭陀寺との歴史的関連性を伝えることができた。
- ・観光案内施設に限らず頭陀寺町内にも配布することで、地域住民に対して地元の歴史に興味・関心を持つ機会を提供できた。

2 地域資源の活用度…A 高い

- ・地域資源である頭陀寺城と豊臣秀吉とのつながりに焦点をあて、南地域の文化財や史跡を巡る案内マップとなっている。

3 地域への貢献度…B 普通

- ・事業を通じて豊臣秀吉と浜松市（南地域）の繋がりや地域の文化財を知る機会を提供し、地域の歴史を継承することに貢献した。

4 財政支援の妥当性…B 普通

- ・作成した案内マップを活用した学識経験者による講座の実施によって、地域住民に生涯学習の場を提供するとともに、大河ドラマ「豊臣兄弟！」に合わせた配布により市外の観光客へのPR効果も期待できることから、財政支援の妥当性はある。

5 費用対効果…B 普通

- ・案内マップ5,500部を市内の観光ボランティアや観光施設など幅広く配布することで、市外や県外の多くの人に知っていただくことができることから、費用対効果が期待できる。

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業																											
事業主体名 (共催、後援、協力等)	秀吉ゆかりの頭陀寺城を語る会																											
実施時期	令和7年10月27日（月）～令和8年3月31日（火）																											
実施場所	浜松市中央区頭陀寺町																											
参加人数	団体スタッフ 10名、参加者 30名																											
事業の内容	<p>①秀吉ゆかりの頭陀寺城跡周辺お散歩マップを5,500部印刷し、頭陀寺町内及び関連施設へ配布した。(配付先は以下のとおり)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>名称</th> <th>送付数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>観光・シティプロモーション課</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>インフォメーションセンター</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ボランティアガイド</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>頭陀寺町内</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>市内ロータリークラブ(2先)</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>さわやかウォーキング</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今後南行政センター・南地域協働センターに配布予定 残りマップは頭陀寺に保管しており、今後も無くなった先へ追加配布していく。</p> <p>②秀吉ゆかりの頭陀寺城について、学識経験者による講座を実施 実施日 令和8年3月29日 14時から 会場 不二閣 元頭陀寺幼稚園体育館2階 頭陀寺境内 演題 頭陀寺城時代の豊臣秀吉 講師 大場 康弘 氏 参加者 30名</p>	No.	名称	送付数	1	観光・シティプロモーション課	300	2	インフォメーションセンター	200	3	ボランティアガイド	100	4	頭陀寺町内	200	5	市内ロータリークラブ(2先)	200	6	さわやかウォーキング	100	7	その他	100	計		1,200
No.	名称	送付数																										
1	観光・シティプロモーション課	300																										
2	インフォメーションセンター	200																										
3	ボランティアガイド	100																										
4	頭陀寺町内	200																										
5	市内ロータリークラブ(2先)	200																										
6	さわやかウォーキング	100																										
7	その他	100																										
計		1,200																										

事業目的の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ「豊臣兄弟！」が放送されているタイミングで、案内マップの作成や講演会を実施することによって、観光客が増え地域の活性化が図ることができた。 ・地域住民に対しても、地元の歴史に興味・関心を持つ機会を充分提供した。
地域資源の活用度	松下屋敷跡、鎌研池など地域の歴史文化財を紹介し交流人口の増加が図られた。
地域への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通して、秀吉と浜松市の繋がりや地域の文化財を周知することができた。 ・地元住民に対し歴史に興味・関心をもつ機会を提供し、歴史的建造物を大切にすることを意識啓発ができた。
財政支援の妥当性	大河ドラマのタイミングで、本事業を活用してパンフレットを作成・配布することで、市外からの観光客への浜松市・頭陀寺城のPR効果があり、財産支援の妥当性はあると考える。
費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> ・案内マップを5,500部作成することで、多くの方々に周知できるため、費用対効果は高い。 ・年末まで大河ドラマの放送は続くため、今後一層費用対効果は高くなっていくと思われる。
今後の方向性	今後も頭陀寺の歴史や文化財をより多くの人に周知していく活動を継続していく。
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	150,000	150,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	300,322	300,000	12,500	△12,178	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報償費	○	50,000	50,000			講師謝礼①50,000円
需用費 (消耗品費)	○	8,110	20,000		△11,890	コピー用紙②850円 インクジェット③7,260円
需用費 (印刷製本費)	○	222,212	200,000	22,212		案内マップ [※] 印刷④205,700円 講座資料印刷⑤15,000円 講座写真印刷⑥1,512円
役務費 (郵便料)	○	0	10,000		△10,000	
使用料及び 賃借料	○	20,000	20,000			会場使用料⑦20,000円
計		300,322	300,000	22,212	△21,890	
うち補助対象 経費		300,322	300,000	22,212	△21,890	

※補助対象事業に○を記載してください。